

令和8年1月23日

北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会

委員長 田代 高章 様

いわさき小学校区適正配置検討地域協議会

会長 亀田 善男

いわさき小学校区適正配置検討地域協議会の報告について（~~中間~~結果）

時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記について、令和8年1月20日現在協議がまとまりましたので、次のとおり報告いたします。

記

- 1 進捗状況 ~~協議中~~協議終了
- 2 協議内容 別紙「いわさき小学校区適正配置検討地域協議会の協議結果について」のとおり

事務局	岩崎地区自治振興協議会
担当	浅田 昌稔
電話	0197-73-6076

いわさき小学校区適正配置検討地域協議会の協議結果について

いわさき小学校区適正配置検討地域協議会では令和7年8月5日からこれまで5回の会議を開催し、いわさき小学校の今後のあり方について、検討を重ねてまいりました。

この度、いわさき小学校区適正配置検討地域協議会での意見を取りまとめましたので、次のとおり協議結果を提出します。

記

1 結論

地域住民と一体となった教育体制を構築することを前提に、いわさき小学校を現行のままとし、令和10年3月まで新たな検討会で協議を継続することを結論とします。

2 背景

- ・北上市立学校適正配置基本計画の趣旨は、子どもたちがより良い教育環境で学べるよう、学校の規模や配置を見直すこと。
- ・いわさき小学校では、令和10年に複式学級が生じ小規模校化する見込みである。
- ・適正配置計画では、市が一方向的に統合案を示すのではなく、地域住民が主体となって検討することが基本方針とされた。
- ・小規模校のデメリットを最小化するため、全国の多様な学校の取り組みやコミュニティスクールの活性化、地域住民による教育支援、学校間交流などの手法も検討対象と示された。
- ・学校が存在することによる地域コミュニティの維持や、伝統文化の継承も重要課題と捉えている。

3 協議会の考え方

- ・子ども中心の議論だけでなく、地域コミュニティの維持と教育環境の両立を目指す。
- ・保護者世代の意見をより反映するため、委員構成を見直す。
- ・地域住民の関心を高めるため、広報紙や勉強会を通じた情報提供と議論を強化する。
- ・ビジョンを策定し、地域計画と連携しながら学校の魅力を発信する。

- ・学区制の弾力化

4 今後の検討課題

- (1) 小規模校のデメリット解消策の研究(複式学級対応、ICT活用、学校間交流など)。
- (2) コミュニティスクールの活性化と地域住民による教育支援体制の強化。
- (3) 伝統芸能やスポーツ少年団など特色ある学校づくりの推進。
- (4) 地域計画と連動した教育体制の検討。
- (5) 北上市教育委員会との連携強化による、専門的支援の継続

5 今後のとりくみ

令和8年度以降新たに、保護者世代を中心とした委員構成による検討会を設置し、議論を深め当事者の声を反映する場とする。

地域住民の理解と協力を得るため、情報発信の拡充を行っていく。